

令和4年度 事業報告

- I 事業別報告
- II 機関運営報告
- III 地区活動報告

※表記について

- 1 「全国高等学校 PTA 連合会」を「全国高 P 連」と略記する。
- 2 「全国高等学校 PTA 連合会大会」を「全国大会」と略記する。

I 事業別報告

1 高等学校 PTA 活動の質的向上と情報共有に資する研究大会、講演会、研修会等の開催

(1) 第71回全国大会の主催

日程： 令和4年8月25日(木)・26日(金) 開会式、記念講演、閉会式、分科会
場所： いしかわ総合スポーツセンター、石川県産業展示館
テーマ： 「輝く未来への礎」～親から始める新時代の教育～
主管： 石川県高等学校PTA連合会

- ・記念講演：澤田 貴司 氏 (株)ファミリーマート顧問 (前副会長・元社長)
講演「やりたいことをやる」

- ・分科会：第1分科会「新時代の家庭教育」
～今、伸ばすべき本当に必要な力～
第2分科会「新時代の学校教育」
～学習意欲を高める個別最適化、協働的な学び～
第3分科会「新時代のキャリアデザイン」
～ローカルキャリアが育む未来の働き方・生き方～
第4分科会「新時代の進路選択」
～正解のない時代に、どう未来を選択していくか～

- ・参加者： 実参加者数 4,695人、参加校 1,278校、
オンライン参加校 1,078校

(2) 地区大会の共催

下表の通り各地区で開催した。

地区	開催日	場所
北海道地区	6月11日(土)	釧路市(Web開催)
東北地区	6月30日(木)・7月1日(金)	盛岡市
関東地区	7月9日(土)・10日(日)	横浜市
東京地区	7月9日(土)	オンライン開催
北信越地区	全国大会終了後	誌上開催
東海地区	6月17日(金)	名古屋市
近畿地区	7月17日(日)・18日(月)	大阪市
中国四国地区	7月26日(火)	松山市
九州地区	6月17日(金)	長崎市

(3) 全国会長・事務局長連絡会、全国会長・事務局長研修会の開催

○全国会長・事務局長連絡会： 令和4年10月9日(日)／東京ガーデンパレスで報告、連絡を行った。

- ・全国大会石川大会報告
- ・薬物乱用防止パンフレットの活用
- ・全国大会開催ガイドラインについて
- ・理事会報告

○全国会長・事務局長研修会： 令和5年2月4日(土)／東京ガーデンパレスで3つの講演、報告、連絡を行った。

- ・講演 テーマ 「大学入学者選抜をめぐる最新の動向について」
講師 文部科学省 高等教育局大学教育・入試課大学入試室長 平野 裕紀 氏
- ・講演 テーマ 「高校生の保護者の方へ ～成年年齢と契約について」
講師 法務省 大臣官房司法法制部 部付 歸山 俊祐 氏
- ・講演 テーマ 「半径5mからの問いが、変えていく世界」
講師 (株)リクルート キャリアガイダンス編集長 赤土 豪一 氏

2 高等学校PTA活動に関する調査研究

アンケートシステムによる情報の収集

調査広報委員会が、アンケートシステム（Google アンケート）を使用し、全国高等学校の学習環境の状況やPTA活動の現状に対する会員の皆様からの声を反映し、学習環境の更なる改善の要請やPTA活動の充実につなげるため、アンケートを実施（高P連加盟PTA会長 対象）

実施期間 令和5年2月17日から令和5年3月24日

回答数 1,822名 アンケート結果は、ホームページ及び会報96号に掲載

3 青少年の健全育成および生涯学習に資する情報の収集と提供

(1) 青少年の健全育成に係る事業助成

各都道府県市連合会が地域の実情に応じて実施する「高校生のマナーアップ運動に関する事業（啓発活動）」をはじめ、青少年の健全育成に係る事業（研修会、講演会等）に対する助成金を支給した。

【健全育成に係る助成金申請団体】

秋田県高P連、茨城県高P連、栃木県高P連、群馬県高P連、埼玉県高P連、千葉県高P連、
神奈川県高P連、岐阜県高P連、滋賀県高P連、奈良県高P連、和歌山県高P連、兵庫県高P連、
高知県高P連、福岡県高P連、長崎県高P連、熊本県高P連、沖縄県高P連

(支給総計額 2,061,403 円)

(2) インターネットリテラシー向上のための取組み

文部科学省が主管し株式会社メディア綜研が主催するネットキャラバン隊事業に参加し、保護者等へのインターネットリテラシー向上を図った。

(3) 教育課題に関する調査研究

全国会長・事務局長研修会で取り上げる課題について研修委員会で検討した。

(4) 「高校生と保護者の進路に関する意識調査」について

各地区3校の高校2年生および保護者を対象とした意識調査について、次回実施の令和5年度に向けて進路対策委員会で検討した。

4 広報紙等の刊行

(1) 会報の発行

本会関係の情報を総合的、包括的に提供するため会報を発行する。

第94号 4月20日付発行（令和3年度活動報告、各地区トピックス、全国大会石川大会案内等）

第95号 12月23日付発行（全国大会石川大会関係、地区情報、全国大会宮城大会案内等）

(2) ホームページの充実

本会関係の情報発信を円滑に行うため、ホームページの充実に取り組んだ。

5 顕著な業績をあげたPTAその他の団体及び個人の顕彰

(1) 全国高P連としての表彰

各県連へ郵送にて、本会表彰規程に基づき、団体、個人を顕彰した。

(2) 文部科学大臣による表彰事務協力

第71回全国大会石川大会で、文部科学大臣表彰については全国大会全体会で被表彰団体を紹介し、表彰を行った。

6 社会環境（教育環境）整備ならびに家庭の健全化を図る活動

(1) 薬物乱用防止パンフレットの制作および配布

専門委員会として「薬物乱用防止パンフレット編集委員会」を編成し、保護者向け啓発資料として「薬物乱用防止パンフレット」を作成し全国に配布予定。本事業は年度ごとに財団法人日本宝くじ協会に申請を行って助成金を受けているもので、例年同様に約1,500万円の事業規模で実施した。

《 薬物乱用防止パンフレット編集委員会 》

北垣 邦彦	東京薬科大学薬学部教授（薬学博士）
嶋根 卓也	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部 心理社会研究室長（医学博士）
原田 進	公益財団法人麻薬覚せい剤乱用防止センター専務理事
鈴木 貴晃	文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 健康教育調査官（薬学博士）
松下 妙子	本会理事、健全育成委員長

《 事業概要 》

- ・発行部数……110万部
- ・配布対象……加盟校新入生保護者 その他
- ・主な改訂……市販薬に関する内容と数値の更新を行い改訂した。

令和5年2月初旬配布

(2) 官庁等への意見表明、要請

文部科学省に対し、国公立PTA4団体で教育環境の課題に対して要請を行った。

(3) 他の関係団体、機関との連携

文部科学省、内閣府等の省庁、教育関係機関等との情報交換、連携活動を進めた。

イ 令和4年度全国高P連役員等が就任し、情報交換、意見表明した委員

〈文部科学省・内閣府〉

山田会長	文部科学省「大学入学者選抜協議会」委員
中川事務局長	文部科学省「大学入学選抜における総合的な英語力評価を推進するためのワーキンググループ」委員
中川事務局長	内閣府「男女共同参画推進連携会議」委員

〈他の省庁および独立行政法人関係〉

山田会長	(独) 日本学生支援機構運営評議会委員
田名部副会長	(独) 大学評価・学位授与機構大学ポートレートセンターステークホルダー・ボード委員

〈社会教育団体関係その他〉

山田会長	AIG 高校生外交官プログラム実行委員
山田会長	(公社) 日本PTA協議会「広報に関する研究会」委員
中川事務局長	(公財) 日本修学旅行協会評議員、(公財) 日本学校保健会評議員 (公社) 日本教育会理事、(公財) 古岡奨学会評議員

7 賠償責任補償制度の運営に関する活動

(1) 「全国高 P 連賠償責任補償制度」普及啓発活動

イ 令和4年度は加盟学校数が減少した（3,914校→3,880校）、制度への加入校は変化なし（2,290校→2,290校）。生徒加入率は59.87%→60.70%となった。

しかし、全体の生徒数減により加入生徒数は減少した。（1,199,209人→1,181,244人）

ロ 制度への理解を深めるため、賠償責任補償制度運営委員等による県連・各機関へ情宣活動を行った。

(2) 賠償責任補償制度の円滑な業務運営

都道府県市高 P 連事務局と連携し、賠償加入業務、集金業務等のスムーズな進行・運営を行うことができた。

8 その他この法人の目的を達成するために行った事業

(1) 他の団体との協力関係

イ 《 令和4年度 法人または団体の賛助会員 》

東京海上日動火災保険株式会社

損害保険ジャパン株式会社

AIG 損害保険株式会社

三井住友海上火災保険株式会社

株式会社日本旅行